

2021年3月8日

新入生および在学生の皆さんへ

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部

パソコンとインターネット接続環境の準備について（学部からの補足説明）

本学では2月18日付で「[パソコンとインターネット接続環境の準備について](#)」を大学HPに掲載し、4月以降に対面（※1）とネット配信（※2）の両方の形式で実施される授業に備えてのパソコンとインターネット接続環境の準備に関してのお願いをしています。本学部は留学（Study Abroad）を必須とする学部です。学部特有の注意事項がいくつかありますので、補足で説明します。

- ・ Zoom（※3）などによる双方向オンライン授業では、パソコン上でカメラとマイクが使えることが必要です。多くのノート型パソコンには内蔵されていますが、そうでない場合は外付けのカメラやマイクを用意する必要があります。
- ・ Windows または MacOS がインストールされたノート型パソコンを推奨します。タブレットの場合、Microsoft Surface Pro のように Windows がインストールされており外付けキーボードを接続してパソコンとして使用できるものなら問題ありません。
- ・ AC アダプタ紛失などの可能性を考えると、海外の SA 先（英語コース・中国語コースの場合）、日本国内（日本語コースの場合）でサプライ品（消耗品や小物周辺機器）が手に入るメーカー・機種のパソコンだと安心です（Dell、Lenovo、Apple など）。
- ・ 双方向オンライン授業やネット配信授業では同時に複数のソフトウェアを起動することが少なくありません。そのような場合も快適に使える機種が望ましいでしょう。メモリ（※4）が8GB以上あることが1つの目安になります。
- ・ 対面授業では持ち込みパソコンをプロジェクターにつないでプレゼンテーションを行う機会があるかもしれません。通常はHDMI（※5）出力端子で接続するので、パソコン自体にHDMI出力端子が用意されていない場合（Apple の MacBook Air など）は別途アダプタを用意する必要があります。

用語の説明		
※1	対面授業	キャンパス（教室）で行われる授業です。
※2	ネット配信授業	インターネットを活用して実施される授業です。 「講義資料、課題等の提示」、「講義等を収録した動画の配信」、「双方向オンライン授業（リアルタイム配信授業を含む）」などの形式があります。
※2	Zoom (Zoom ミーティング)	「双方向オンライン型授業」で用いる Web 会議のアプリです。 代表的なアプリは、Teams (Microsoft) と Zoom (Zoom Video Communications) です。 https://zoom.us/jp-jp/meetings.html
※3	メモリ (メモリモジュール)	メモリとは、コンピュータで作成する文章や情報など様々な作業の内容を、一時的に記録するために使用するものです。メモリに記録できる容量（大きさ）を増やすことで、いろんなソフトを同時に使用できたり、例えば動画とか音楽のような大きなデータも、すばやく処理できたりします (https://www.elecom.co.jp/pickup/guide/memory/what/index.html から文言引用)
※4	HDMI	HDMI は「High-Definition Multimedia Interface」の略で、映像と音声をデジタル信号で伝えるための規格です。いくつかの接続端子がありますので、注意してください。大学で接続する機器の多くには、「タイプ A」が設置されています。

【参考リンク】

[情報教育環境ナビゲーション](#)

- ・同志社大学のパソコン、ネットワーク、マルチメディア環境の情報をまとめたホームページです。

[情報教育環境ガイドブック（在学生のみ）](#)

- ・2020 年度版の情報教育環境をまとめた冊子です。冊子体での発行はしていませんので、必要に応じて、ダウンロード・プリントアウトしてご利用ください。

[ネット配信授業の受講準備と注意点](#)

- ・ネット配信授業の受講にあたり、学生の皆さんに知っておいていただきたいことをまとめています。

以上